

1. 調査報告概要表

作成日平成19年12月3日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 1 5 0 3 9 5 7
法人名	株式会社ホンダニイマルヨシ
事業所名	グループホーム木之庄
所在地	広島県福山市木之庄町3 - 13 - 17(電 話) 084 - 923 - 7163
評価機関名	医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成19年11月29日

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	12 人	常勤 3 人, 非常勤 9 人, 常勤換算	4, 1

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル造り
	2 階建ての, 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 933 円			

(4) 利用者の概要(11月29日現在)

利用者人数	8 名	男性	名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 86 歳	最低	77 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	城北診療所
---------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム木之庄は街中で、協力医院や商店があり交通の便も良い場所で、事業者の親にとっての思い入れのあるグループホームを設立され、人材にも恵まれ、入居者は家庭的で心身共に思いやりある、温かい環境の中で日常生活を過ごされています。管理者は看護師で、認知症アドバイザーでもあり経験と努力によって、重度の糖尿病の方は食事で、心臓病の方はストレッチによって、精神障害の方は薬を少なくし、薬に頼ることなく普通の生活ができ、食事も特には制限することなく安定した生活を送られる程に回復されている。管理者、職員はきめ細かなケアをされ、介護への熱意も熱く感じられ、入居者や入居者の家族にとっても安心のホームと感じられました。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	常に介護の原点に戻り一つの課題をしっかりと、話し合い見直して、全職員が同じ介護ができる体制づくりを目指し、理念を日々確認しながらケアの向上に前向きな姿勢が強く感じられました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員は木之庄の理念(健康で思いやりある温かい楽しいグループホーム)を目指し入居者に対して優しい気持ちで支援されている。働きやすい職場であり職員は自然体で穏やかな姿勢がみられました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	今回の運営推進会議はクリスマス会の日に家族、民生委員、町内会長さんなどで開かれる予定である。今後幅広い立場の人に参加してもらえるよう働きかけられ、意見を聞きグループホームを理解してもらえるよう取り組まれることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族には2ヶ月に一回、木之庄だよりを発行し入居者の日々の生活の様子やホームの行事などを送られている。家族は気軽に訪問されており入居者、家族のよりよい関係が築けるよう支援されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	チャレンジウイークふくやまの職場体験で、中学生を受け入れたり、地域のボランティアの方の協力もある。地域に根ざしたグループホームを目指している。今後地域のつながりを大切にする為にも町内会に入られたり、運営推進会議に行政(包括支援センター等)の参加を要請したり、社会資源を活用されることを期待します。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域で安心した生活が継続できるよう柔軟な支援を理念に、思いやりを大切にみんな仲良く明るい楽しいホームにしようとされています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のミーティングや月1回の全員ミーティングで理念をもとに取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所の人達にいつでも訪問してもらえるように開放されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義をミーティングで話し合い、改善に向けて検討され、実践につながる努力がされている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今回運営推進会議をクリスマス会に家族、民生委員、町内会長さんの参加で開かれる。		今後は平日の日に運営推進会議を開かれ行政の参加を呼びかけ多くの意見を聞きホームの取組みを理解してもらえる機会になるよう期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政が主催する研修によく参加され、常に前向きに取り組まれている。		
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には木之庄だよりでホームの様子や行事などをのせて知らせている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には入居者の状況や様子を話し、しっかりとした話し合いをして要望を聞く取組みがされている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はなく入居者と職員はなじみの関係づくりをされている。若い職員が産後、子供を連れて職場復帰することにより、子供(2才)と入居者の関係が双方に良い影響を与え和やかな雰囲気をかもしだしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	設立から4年目に入り、人材が充実してきている。又、管理者が独自で、きめ細やかなマニュアルを作成していて、今の現状であれば、管理者は職員と同じケアの方向でいける人材を育てて、自分の代わりができるようOJTを進められている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会に参加して同業者と交流することにより、情報交換をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ホームでの生活が安定するよう職員は家族と話し合い他の入居者との協調性も配慮され、安心して過ごせる支援がされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者と職員は共に過ごし、共に支えあう気持ちで、できる事を一緒にやれるよう場面づくりをされている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>その人らしさを日々のかかわりの中で、把握に努め、意志伝達が困難な方は家族から話を聞き、できるだけ情報を得られるようにして、介護に活かされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者、家族と話し合い医療機関からも意見を聞き、週1回ケアマネと担当者との話し合いがあり、入居者にとってよりよい介護計画を作成され、入居者の今の状況に至っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書は詳細に記録されている。入居者の状態に応じて変化があれば、見直しがされている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の暮らしを守る柔軟な支援がされ、日々変化する状況や重度化していく時、要望に応じて必要な介護を提供されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と相談し提供医療機関で受診し、医師の指示を受けている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居の際、入居者、家族と話し合い、入居者にとってどうあったらよいか意向を聞き、提供医療機関と連絡をとられ、緊急往診体制ができています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊厳を大切に入居者の誇りやプライバシーを傷つけない配慮がされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の時間の流れはあっても、一人ひとりの体調に合わせて配慮された支援がされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜を多く取り入れた献立で糖尿病の方、心臓病の方にも合った薄味でやさしい味付けをされ、制限はされていない。嚥下食、ミキサー食、刻み食と細かな食事の提供がされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回、体調の状況により入浴支援がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ぬりえ、工作、数字の計算、間違い探し、しりとり、歌といるいるな遊びを楽しまれている。朝はストレッチ、足の体操など音楽に合わせて取り入れられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩と近くに出かけられている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は開放されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練をされて緊急連絡マニュアルがあり、近所の方の協力体制も得られている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>繊維の多い野菜や、緑黄野菜の組み合わせで、栄養バランスはよく、水分摂取1000CCを目安にされている。その為、便秘の方は薬に頼らないようになられた。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間の一部に畳の部屋があり、そこにある炬燵でトランプをされていて、落ち着いた共用の場で過ごされて温かみを感じた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭から持ち込まれた物品が置かれ、使い慣れたものが置かれている。</p>		